



関節リウマチのCOVID-19について 2020/8/17(第21報 その1)

関節リウマチに対するリスクは？

1. リウマチ性疾患の有無にかかわらず、COVID-19に感染する可能性があります。
2. 当院も参加しています、The Global Rheumatology Alliance Registryの報告では、関節リウマチを発症している65歳以上の方、高血圧、糖尿病、腎疾患のある方は注意が必要です
3. 現段階では、予防が最も重要です。

Ann Rheum Dis. 2020;79:859-66

ウイルスから身を守るためにはどのようにすべきですか？

1. 不用意な濃厚接触をしない（予防策なく、1mの距離、15分）
2. 不潔な手指で、目、鼻、口、マスクをさわらない
こまめな手洗いで大丈夫。1回あたり20秒間、しっかり洗う。
(アルコールでの手指消毒は十分な量をつかう)
3. **マスクを着用**（不織布マスクがよい）
せきエチケットも重要
他人に向けてせきやくしゃみをしない。
4. 密集、近距離、密閉をさけるようにしてください
5. **気分転換**もたいせつ
三密や熱中症に注意して、散歩や軽いジョギング。
6. **まちがった情報に注意！**
ひとりで心配しないで、主治医にすぐに相談する。



調子が悪い時はどうしたらいいですか？

発熱、息切れ、からせき、咽頭痛、嗅覚異常、味覚異常がある場合や濃厚接触歴がある場合は、主治医に連絡してください。
まず受診せずに、**電話連絡をする**ようにしてください。
いきなり直接医療機関に受診しないでください。

現在、関節リウマチの治療中ですが、どうしたらいいですか？

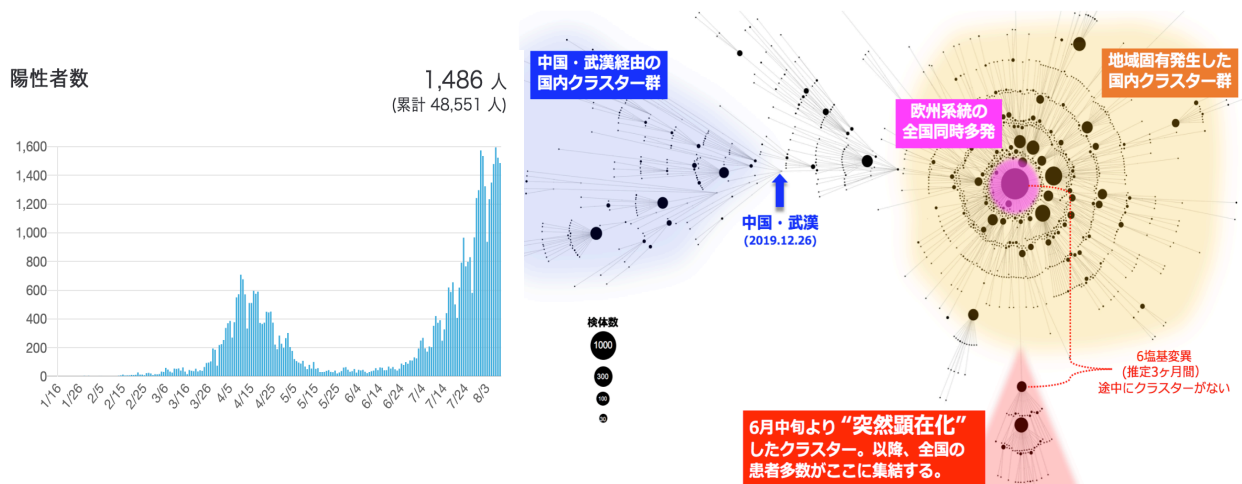
前述のThe Global Rheumatology Alliance Registryの報告では、下記のことからわかっています。

1. MTXなどの免疫抑制薬や生物学的製剤、JAK阻害剤を用いている患者さんが重症化しやすいことはない。
2. ステロイド（プレドニゾロン換算10mg/日以上）内服している場合には重症化のリスクに配慮した方がよい。
3. 勝手な抗リウマチ薬の減量や中止は、関節リウマチ・膠原病を悪化させることが報告されており、自己判断しない。

Ann Rheum Dis. 2020;79:859-66

日本の現状はどうなっているのでしょうか？

欧州系統の第1波からの”残党ウイルス（3か月で6塩基変異）“による患者さんが増えています。



厚生労働省ホームページより
国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センターより

中和抗体を産生するワクチン開発の報告もされています。
「こわがりすぎず、しっかり予防」で新型コロナウイルス感染対策を
続けていきましょう。

文責；院長 山前正臣